

日本における令和6年度の人権啓発重点目標

『誰か』のこと じゃない。



## 人権講演会を聞いて

先日、弁護士の三木先生による人権講演会が開かれました。  
皆さんの感想の中からいくつか紹介します。



1年生：人権尊重は自分たちの気持ちから始まる。一人一人が「人権尊重」を意識することで「お互いを尊重しあう」という世界が作れると思う。自分や他人の短所を見つけるのは簡単だが、長所は難しい。だからこそ、長所を互いに見つけあい、その長所を伝え合うと仲良くなったり、お互いを尊重することができる。「いじめ」は加害者は気づかぬうちにやっていることが多いけれど、被害者はとても辛い思いをする。一人一人が相手の気持ちを考えて、行動や発言をしなければいじめはなくならないと思った。

2年生：三木さんがおっしゃったように、人権は遠いようで身近にあることを忘れてはいけないと思った。人権について考え方が改められたのはここ100年ほどで、それまでの人たちの他人に対する考え方は今と違い、尊重というものが少なかったのだろうと思った。最後の動画を見て、リスペクトアザースは、相手から始めるのではなく、自分から始めるというのがかなり自分の考え方に刺さった。自分から始めるというのは簡単そうで難しいから、その一歩を踏み出せるように、自分の行動には気を付けたい。

3年生：四中は2年前からリスペクトアザースを意識していて、授業中でも積極的に意識している。だが、改めてリスペクトアザースについて考えさせられた。普段の生活でもリスペクトアザースを心がけていきたい。人間は一人一人違う人であり、周りに合わせなくてよく、その違いが個性であるという言葉が印象に残った。私もその違いを個性として受け入れて過ごしていきたい。

3年生：私も学校生活を送っていく中で、少し居づらく感じるが多かったので、動画を見て共感できることが多くあった。自分らしさを出す他の人から冷たい目で見られたり、自分が良かれと思ってしたアドバイスなどを自慢だなどと悪く言われてしまったり、日本の学校では他の人に、みんなと同じように過ごさなければ白い目で見られることが多くあると思う。どのようにこの風潮を変えていくかで大切なことは、自分から「リスペクトアザース」していくことだと分かった。よく自分が変わらないと人を変えようとしても変わらないという話を聞くので、自分から他人を尊重する、みんなの違いを受け入れることが大事だと思った。古くから刻まれてしまった考え方はなかなか消せるものではなく、完全になくすためには途方もない時間がかかってしまうと思うけれど、少しでも多くの人々が幸せに暮らせる世の中になってほしいと思う。